

堺リベラル中学校 学校関係者評価報告書

1. 実施状況

日時 平成30年10月24日（水）午後3時00分から

場所 愛泉学園 会議室

2. 委員会構成

香ヶ丘リベルテ高等学校校長	1名
挹泉会（同窓会）会長	1名
愛泉学園評議員	5名
愛泉学園監事	2名
堺女子短期大学特任教授	1名
香ヶ丘リベルテ高等学校元副校長	1名
本校関係者	1名

3. 評価・提言

（1）教育活動と確かな学力の育成（教育充実のための取組）

本校の教育の柱である表現教育・英語教育・マナー教育への取組の成果は評価できる。個々の学習状況に応じた学習指導では、習熟度別による補習や対策講座など、少人数教育の利点を生かした取組を行っていることから公立の上位校や私立の難関校への進学実績に繋がっているため今後も継続していただきたい。

英語検定の対策講座の実施と英語検定の全員合格を目指す取組みの達成度および、不登校生徒の援助・指導・対策をチームとして取組んでいるが登校できるまで改善されているとはいえないので、今後さらなる対策をお願いしたい。

挨拶の習慣化では、登下校の挨拶や学校行事での礼儀指導の徹底の達成度が高いことから分かるように、来客者にも進んで挨拶ができています。

（2）学校としての組織的な対応

保護者との連携では、授業参観、保護者会総会・役員会や個人懇談を実施するなどして、保護者とのコミュニケーションは取れているように見受けられるので、今後は講演内容などを充実させ、より良好な関係を維持させていただきたい。

子ども安全連絡網による学校連絡を実施してはいるが、年度途中で連絡先の変更をした方への対応が不十分であったり、メールが届かなかったりと問題点もあるので改善していただきたい。

（3）教員人材育成

模擬授業の実施と評価では、各先生が模擬授業をして相互評価はされているが実施回数が十分ではないので、今後の課題としていただきたい。また、教員の能力や教育力を高めるためにロールプレイを取り入れてもよいのではないかと。

教員研修の実施では、防犯対策の講演・研修会を開催して危機管理に対する意識は高いので、今後はより実践的な対応ができる取組みも検討していただきたい。